

平成25年度 第3回研修会の記録

報告 平成25年 9月 1日

研修テーマ	都会で見られるキノコ (都会で見られるキノコの種類と生態を学ぶ)	参加者	埼玉支部 30名 他支部 27名 (東京 15・神奈川 9・千葉 2・群馬 1)
講師	井口 潔	研修場所	WithYouさいたま4F視聴覚セミナー室
研修資料	「都会でみられるキノコ(木材腐朽菌)」「都会でみられるキノコ(キノコは化ける)」「子実体発生頻度×樹種一覧表」「生立木腐朽菌の概要」	研修記録者	秋元 信二
目的	樹木診断において木材腐朽菌の有無は判断の重要な項目であるが、都市部で見られる「キノコ」は、その特性や形態の変化が多様である。今回、専門的視点からその同定ポイントや腐朽菌の種別による被害度等の講義を受け、今後の樹木診断の向上に役立てることを目的とする。		

内容 パワーポイントを用いた講義、キノコの標本の展示。

- 13 : 30 講義開始
- 14 : 50 休憩(10分)
- 16 : 00 講義終了、質疑応答
- 16 : : 40 終了



研修写真



withyouさいたま4F視聴覚セミナー室



主な講義内容

- ・キノコは、その発生する地域・環境により左右され、発生する種が顕著な違いを見せる。
- ・腐朽菌の正確な同定が必要であるが、立木腐朽菌の同定は困難である。
- ・正確な同定のために

1. 発育ステージ毎の形態・色調などを知る(接する)ことが必要。
2. 微細な形態の観察を必要とする。
3. 材の腐朽型を正しく把握する。
4. 顕微鏡的形態観察・培養所見の観察なども可能な限り心がける。

立木腐朽菌への対処の基本

1. 植栽時の丁寧な取り扱いと適切な剪定。
2. 植栽場所の地形・土質などに対する考慮が必要。
3. 樹木の受傷の防止。
4. 枯枝の早期発見と適切な処理。
5. 樹勢の適切な評価と維持。

腐朽型の例



左: 白色腐朽 右: 褐色腐朽

各論

根株腐朽菌

- | | |
|-------------|--------------|
| ・ベッコウタケ | ・ニクウチワタケ |
| ・スルメタケ | ・ツリバリサルノコシカケ |
| ・コフキサルノコシカケ | ・マメザヤタケ |
| ・オオミコブタケ | ・マンネンタケ |



ベッコウタケ

幹・枝腐朽菌

- | | |
|------------|-----------|
| ・シイサルノコシカケ | ・カワウソタケ |
| ・ヒラタケ | ・トキイロヒラタケ |
| ・アイカワタケ | ・マツオウジ |



シイサルノコシカケ

全身性病原菌

- | | |
|------------|----------|
| ・ナラタケ | ・ナラタケモドキ |
| ・ムラサキウロコタケ | |



ナラタケモドキ

腐生腐朽菌

- | | |
|----------|-----------|
| ・カワラタケ | ・ニクウスバタケ |
| ・ニクハリタケ | ・チャカイガラタケ |
| ・センベイトケ | ・スエヒロタケ |
| ・ウチワタケ | ・ツヤウチワタケ |
| ・カミウロコタケ | ・チャウロコタケ |



ニクウスバタケ



スエヒロタケ



カワラタケ